

三浦春馬ファンら  
200人が集う

# 日本史教科書 142年ぶり 遂に記述修正



Dream五代塾（川口建理事長）は4月23日、大阪市北区天神橋6丁目の大坂市立住まい情報センターで第8回セミナーを開催した。約200人の三浦春馬ファン・五代友厚ファンが全国から集まつた。講演会は第一部が「新・五代友厚伝」の著者、八木孝昌・Dream五代塾顧問の「回復された五代の名誉」、第二部が映画「天外者」の田中光敏監督が「映画制作の楽しさ・人との出会い」と題して、映画「天外者」の三浦春馬さんとの制作秘話や秘蔵VRを見ながら解説した。大阪市内に5体の銅像がある五代友厚は、明治の初め「西の五代友厚、東の波沢栄二」とたえられ、日本の近代産業の礎を築いた。それにも関わらず、政府と癡情した悪徳な政商として日本史の教科書で事実誤認の記載がなされてきた。今年の4月大手教科書の記述が変更され、142年ぶりに五代友厚の名前が復讐がなった。その名前回復運動をしてきた八木孝昌の講演を要約する。

## 八木孝昌顧問が講演

■関係出版社への要望書送付

2021年11月3日に大阪市立大学同窓会関係者を中心にして結成された「五代友厚官有物払い下げ説見直しを求める会」（代表・同窓会五代委員会委員長・堀玉隆夫・元学長）は同年12月と翌22年3月に「高校日本史教科書会社5社と『日本史年表』刊行の岩波書店に対する、政府による開拓使官有物の五代友厚への払い下げ記述は事実ではないもの、それ以上の説見直しを求める会」（代表・清水書院教科書の記述変更）

7月31日の期間中の2週間開催さ

れたが、見直しを求める会の関係者が大阪会場へ閲覧に行ったところ、清水書院の「日本史探

究」が従来の記述を変更している

ことが判明した。従来の「日本

史」の記述が「長官の黒田清隆が

同じ薩摩出身の政商五代友厚に

約2千円を投じた事業を39万円

余という不当な安い価格で払い下

げようとして問題になつた」であ

ったところ、23年度以降使用され

た清水書院「日本史探究」の記述

では、「同じ薩摩出身の政商五代

友厚の経営する関西貿易社に払い

下げすらとしていると新聞が報じ

て問題化した」となつていた。変

更されたのは「新聞が報じて問題

化した」の部分だけであるが、從

来記述は虚偽であり、新記述は事

実である。虚偽の記述が事実の記

述に改められたことは一変更で

あつた。もつとも、この変更は不

十分である。「ただし、その報道

は誤報で、政府の決定し

た払い下げ先は開拓使の

官吏四人が退職して設立

する予定の民間会社であ

つた」と付記しなければ

ない。

■第三次要望書送付と

応答

清水書院の記述変更を

受けた見直しを求める

会」は8月1日付で残る

4社の教科書会社と岩波

書店に対して、清水書院

教科書の記述変更を伝え

るとともに、従来記述の

見直しを求めた。今度は、

のニュースはぜひとも全国の読者

## 五代の名誉回復

### 見直しを求める会

田中監督は映画「天外者」制作秘話語る

役の朝日新聞社だけであった。他には関西テレビのクルーだけだった。記者発表は堀玉代表が配布資料に沿つて行った。4月初旬には、

翌12日、朝日新聞朝刊の全国版に記事「『五代友厚濡れ衣』たった

月23日に文部科学省での記者発表

を行った。読売新聞は五代名誉

見定め、教科書の編集委員会で更

新の司書について検討を行う」と

ことなどが学界からも指摘された。

出版からは「記述訂正」の返事が

きた。東京書籍からは、「その内

容が学芸等でのよくな評価を受

けていたかという点などを慎重に

見てもらおう」という意見が寄せられた。記者会見には「見直しを求める会」の代表堀玉隆夫と八木氏と大

学の関係者たちが同窓会から派

遣された。当日の午後10階での会

場に現れたのは、新聞社では幹事

相次ぐメディア報道

■相次ぐメディア報道

4月11日、関西テレビ「ユ

ー・スランナー」の午後5時台に、教

材を受けた。読売新聞は五代の濡れ衣が「無闇」が出ていた。東京書籍は「『五代友厚濡れ衣』たった」という様子が見えた。他の記者会見には「見直しを求める会」の代表堀玉隆夫と八木氏と大

学の関係者たちが同窓会から派